

2020年東京大会を来年度にひかえた

我が校（園）のオリンピック・パラリンピック教育（概要版）

中野区立上高田小学校

○本校（園）のオリンピック・パラリンピック教育で育成したい幼児・児童・生徒の姿

本校では、東京オリンピック・パラリンピック教育を通して、児童に自らの健康や体力の保持増進に努力する実践的な態度と共生社会の実現に貢献しようとする心情や国際感覚を育てていきたい。スポーツイベントの充実を図り、学校、家庭・地域が協働した体力向上の取り組みを推進していく。



○主な実践

アスリート等を招いて

オリンピック・パラリンピックのマスコットをデザインされた谷口亮先生を講師としてお迎えした。「自分の好きな絵を描くことを地道に続けていった先に、描いたキャラクターが全国の小学生から選ばれ、オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクターに決定した。」という谷口先生の実体験を通して、自分の好きな事や夢をもつことの大切さを感じることができた。当日は、東京2020の映像あり、クイズあり、インタビューありと盛りだくさんの内容となった。また、PTAと教職員が何度も打合せをしてPTAと学校が共同開催で会を盛り上げた。

世界の国々や日本の文化を理解する

オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクターの動画を上映し、キャラクターのデザイン紹介を通して、日本の伝統文化である市松模様や日本の象徴であるソメイヨシノなど、デザインから日本の文化を改めて理解することができた。東京大会の開催日を具体的にイメージしながら、世界の国々の選手たちがここ東京に、しかも私たちのまちに来ることを意識させることができた。

平和で誰もが共生できる社会をめざして

日々の教育実践を通して、東京2020大会と絡めながら授業を展開していく。自らの健康や体力の保持増進に努力する実践的な態度を育てていきたい。また、多文化共生社会の構築のために、自分の考えと人の考えを比べながら、自分の考えも大切に、人の考えも同様に大切にということ学ばせていきたい。老若男女を問わず、肌の色や生活してきた環境の違いに触れながら、その差異を超えて分かり合える人に育ててほしい。



○来年度（オリンピック・パラリンピックイヤー）への思い

私達が住んでいる東京に世界中からプロスポーツ選手や応援に駆け付ける人たちが大勢いる。その人たちに「おもてなし」の心でぜひ、コミュニケーションを取り、親切にできる児童に育ててほしい。また、オリンピック・パラリンピックに触れて、努力することの大切さや困難に立ち向かい乗り越える生き方を学んでほしい。



オリンピック・パラリンピック教育実践報告



上高田小学校（園）

実践名『谷口亮先生の講演』



東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットキャラクターのミライトワとソメイティが体育館へお出迎え。



小池校長から「本日の講演会とオリンピック・パラリンピックについて」のお話がありました。



上高田小学校の保護者の皆様から講演をしていただいた谷口亮先生がデザインしたTシャツを全員が頂きました。



谷口先生オリジナルキャラ「ヌヌコ」と上高田小オリジナルキャラの「ハッチャン」を谷口先生がデザインしたオリジナルTシャツ。



東京2020「ミライトワとソメイティ」の動画をスクリーンで見ました。投票したときのことを久しぶりに思い出す子もいました。



オリンピック・パラリンピックマスコットキャラクターをデザインした谷口亮先生にご講演をして頂きました。



クイズ形式で問題に答えました。谷口先生の自己紹介の後は、インタビュー形式で子どもたちの疑問に答えて頂きました。谷口先生が「自分らしく描いた夢」、子どもたちの未来のために大切なことを語って頂きました。



谷口亮先生を真ん中に記念撮影